

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（4月定例会）
開催日時	令和7年4月25日（金）午後2時から午後4時まで
開催場所	田無第二庁舎5階会議室
出席者	委員：伊尻委員、岩穴口委員、小野委員、川原議長、河野委員、坂内委員、 澤井委員、高橋委員、谷関委員、長谷川委員、松本副議長、米村委員 事務局：大内社会教育課長、鬼頭社会教育係長、野田主事
議題	（1）提言の原案の確認について
配付資料	
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

◎社会教育課長から委嘱状の交付

●議題について

議題（1）提言（案）の確認について

○議長：このことについて事務局から説明をお願いしたい。

○事務局：本定例会では、まず、退任した前委員から提出いただいている原稿について、皆様からご意見いただき、その後は、提言全体的に、ご意見をお願いしたい。

現在の提言のページ数が大変多くなっている。提言の見やすさを考慮し、細かな事例や、内容が重複していると思われる箇所の例など、場合によっては内容の削除をすることも併せて、ご意見をお願いしたい。

○議長：「3社会教育におけるネットワークづくり（2）人々がつながる場」の確認、全体の提言に対するご意見、特に、現時点で原稿のページ数が多く伝えたい内容を明確化するために、細かな事例や重複している内容についてはカットをお願いしたい。最終的には「まとめ」のところで、提言の中で特に強調したいものを3点ほどにまとめてお示ししたいと考えているので、その点を含めてご意見を頂戴したい。

まず、「3社会教育におけるネットワークづくり（2）人々がつながる場」について、執筆を担当した前委員から原稿についてコメントをいただいているので、代読する。

『多様で多世代の人が学ぶ場として、<人が集い、つながる場所>が、すべて対象となると考えた。一般的な社会教育（生涯教育）の場となる公共施設については、前項で詳細に述べられているので、本項ではそれ以外の場を中心に執筆した。

西東京市には、行政が設置する場だけではなく、NPOや市民団体が作りあげた数多くの場

があり、さらに場を提供している個人の方も多いのが特長。実例をいくつか挙げましたが、委員の皆さんのご意見を取り入れたい。』

以上、前委員の原稿に対して何かご意見はあるか。

○委員：大変わかりやすい。

提言については次の点を修正したほうがいいのではないか。

- 「すなわち」が多数出てくるので減らす
- 情報の「開示」という記載を「公開」へ
- 「認知を高める」という記載を「広く情報を発信する」へ

○議長：●「すなわち」は事務局より記載方法を検討いただきたい

- 「公開」に修正でお願いしたい
  - 「広く情報を発信する」に修正でお願いしたい
- 他にご意見はあるか。

○委員：次の点を修正したほうがいいのではないか。

- 「～の方」と表記されている箇所を「～の人」へ
- 「公民館や図書館、学校以外の場」が前段で表記されており繰り返しの表現になるので、「それ以外の場」に修正

○議長：委員の指摘どおりに修正をお願いしたい。

サードプレイスやぼくる一むの表記に使われている「」鍵括弧については、取る方向でお願いしたい。他に意見はあるか。

○委員：ぼくる一むは「不登校などで悩む子どもたちの居場所ぼくる一む」にする。

生涯教育と表記されているが、生涯学習との違いはどうか。

つながる場を知るためのネットワークの項目で「公民館や図書館、自治会や町内会のイベントなどの情報はなかなか簡単に知る手立てがないのが現状である」という表現はいいのか。公民館や図書館の情報は紙媒体やHP・SNSで発信しており、自治会・町内会は加入者にはそれぞれお知らせが届いているはずなので、記載方法については検討が必要だ。

○議長：ぼくる一むの表記については、委員の指摘どおりに修正をする。

生涯教育については、委員のご指摘どおり生涯学習に修正する。

○委員：公民館・図書館が情報発信をしていないと捉えられる可能性があるので、文言の整理は必要であるとする。

○委員：広報の項目のところにも、情報のネットワークづくりの構築とある。どちらも一元化されたネットワークが必要ということが1番強調したい点だと思うので、どちらかにまとめら

れないか。

○議長：つながる場を知るためのネットワークの段落を丸々カットして、広報のところにまとめるということでもいいか。

○委員：一同了承

○議長：他に意見はあるか。

○委員：サードプレイスも新時代のつながる場のところで、高校年代まで児童センターでコミュニティ活動を深めていた若者たちが、18歳を過ぎると活動する場所をなくしてしまうという課題についても触れてほしい。

○議長：追加する際に多少削る部分が出てくると思うが了承した。  
他に意見はあるか。

○議長：事前をお願いをしているところではあるが、全体的に原稿を圧縮していく方向で考えていくことをお認めいただきたい。市民の方に分かりやすく伝わることを優先的に考えて、原稿を削っていくことを考えてほしい。

事例については、原稿をまとめていく上でどうしても残さないと成り立たないもの以外は、なるべく削る方向で進めていただきたい。まとめについては、委員の皆さんのご意見を汲み込んだ上で議長が作成するということで問題ないか。

○委員：提言はバランスが大切なので、それぞれが努力して削ることが必要かと思う。まとめについては、箇条書きで記載してはどうか。それが難しければ圧縮する方向でまとめていただければと思う。

○議長：バランスについては賛成である。まとめについては、場合によってはもう少し削減してもいいのではないかと考えている。もしくは3点に絞って書き直そうと考えている。  
そういう方向性でも問題ないか。

○委員：まとめについてその方向で問題ないとは思いますが、その3点とういのはどういうものを想定しているか。

○議長：「新たな時代における社会教育はどうあるべきか」「多様な人々がつながることが重要であること」「ネットワークの肝要さ」の3点が考えられる。

○議長：他にあるか。

○委員：中学校の部活動地域移行と、不登校の子どもたちの居場所づくりについての具体的な提言については、どちらも慎重に扱うべき大きなテーマだからこそ、今回の提言テーマの中で扱うには馴染まないと考える。もし取り入れるとすれば、地域人材のスキルを中学校の部活動に活かすことができるのか、または地域の人が入ることによって学校ではない職員と地域がつながるといふこと、また、不登校については、不登校の児童がオンラインを活用して公民館講座に参加したなど、どのように社会教育に関わっていけるかという視点での提言のほうがいいのではないかと。

○委員：中学校の部活動地域移行について提言したかったことは、部活動以外の地域での充実した活動ができる場所づくりの支援を推進して行ってほしいという点である。中学生の学びや活動を地域の大人たちが考えていかななくてはいけないということに触れたいと考え述べた。ただ、この議論はまだ始まったばかりのことなので、項目自体を取り下げてもいいと考えている。どこかのタイミングで社会教育での課題としても考えていかななくてはならないと考えている。

不登校については、部活動地域移行と同様で、地域の大人たちが子どもたちの学びや活動やそもそもの居場所をしっかりと考えねばならず、が社会教育の場ではその取組が必要なのではないかと提言として入れた。

○議長：委員の方々の意見を踏まえて、中学校の部活動地域移行については項目ごとカットし、子どもたちが置かれている環境の中に中学校の部活動地域移行についての文言を組み込む。活動の場所を増やすということ、地域での学びや活動の中に組み込んで再度修正するという点で問題ないか。

○委員：了承

○議長：不登校については、オンラインの学びは社会教育の中では重要であるので、オンラインを含めた居場所づくりについて記載があるところでまとめていただきたい。

○委員：了承

○議長：社会に開かれた教育課程の実現に向けた取組のタイトルは子どもたちを取り巻く人々のネットワーク強化という方向に変更できるか。

○委員：了承

○委員：社会教育の中で不登校の子たちを考えることは大切なことであると思う。部活動についても、まだ早いかもしれないが大切なことであるので、この提言に入れるのはいいのではないかと。

○議長：それらを踏まえて居場所づくりの箇所に修正をお願いしたい。

○議長：本会議で出た表記・カット・修正等の意見については、最終稿を5/8朝までに提出をお願いしたい。それを受けてカットを含めた原稿の最終調整を議長・副議長・事務局に一任をいただきたい。

○委員：一同了承

○議長：その他あるか。

○事務局：組織改正について5/15号と教育だより号に掲載されているので確認してほしい。  
放課後子供教室のあり方検討委員会を立ち上げる予定だが、委員会の委員に社会教育委員から議長と河野委員をお願いをしたいと考えている。

#### 次回会議

日時 令和7年5月23日（金）午後2時

場所 田無第二庁舎 3階会議室